

# 株式会社白滝有機産業

## 2024 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2024 年9月1日～ 2025 年8月31日)



認証番号0002104



発行日： 2025年10月24日  
改定日： 2025年11月26日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
廃棄物処理フロー	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

### 製品紹介

#### バイオ有機



ハイブリッドスーパー

主に動植物性残さと剪定枝などの木質系副資材からできる堆肥です。  
ガーデニング、花木、野菜・果樹類、ハウス生産物等幅広く使っていただけます。  
(岡山県エコ製品認定 岡エコたい肥 第1号)



ハイブリッド緑化用

主に動植物性残さと剪定枝などの木質系副資材からできる堆肥です。  
ガーデニング、花木、野菜・果樹類、ハウス生産物等幅広く使っていただけます。



主に汚泥、動植物性残さと剪定枝などの木質系副資材からできるたい肥です。  
一般造園関係、芝、ガーデニング、花木などに向く堆肥です。

## I. ごあいさつ

### 環境経営方針

#### <環境経営理念>

株式会社白滝有機産業は、われわれの日常生活や企業活動から発生する有機性廃棄物を高品質の完熟たい肥や炭化物に変え、環境にやさしい有用資源として社会に還元することを通じて、資源循環型低酸素社会の構築に貢献します。

#### <環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。
  - ①受託処理量の安定的確保
  - ②環境配慮型製品の製造・販売の促進
  - ③電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - ④廃棄物の削減
  - ⑤水使用量の削減これらについて環境目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。
2. 近隣住民の不安を解除します。
3. 環境関連法規及び当社が同意した事項を遵守します。
4. 産学連携により、需要家のニーズに合ったたい肥造りに努めます。
5. 従業員に対し、環境教育を実施し、環境保全に関する意識の向上を図ります。
6. 地域社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域に密着した事業活動を行い、地域の環境保全に努めます。
7. 全従業員に対し、この行動指針を周知徹底させるとともに、社外にも公表します。

制定日：2017年6月1日  
改定日：2022年7月21日

代表取締役社長 **中村 雅亘**

**II. 組織の概要**

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社白滝有機産業  
代表取締役社長 中村 雅亘
- (2) 所在地  
本社 〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5316番地  
TEL：086-286-9035 FAX：086-286-9036  
工場 〒709-4251 岡山県美作市白水1303番地  
TEL：0868-75-0378 FAX：0868-75-2610
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 中村 雅亘 TEL：0868-75-0378  
担当者 西田 遥香 E-mail：factory@shirataki-bio.co.jp
- (4) 事業内容  
産業廃棄物処分業（中間処理）、肥料製造・販売業
- (5) 事業の規模  
法人設立 平成3年3月10日  
資本金 2000 万円  
売上高 48545 万円（2024年度）

2024年度実績			
従業員	14名		
延べ床面積	38,696㎡		
受託した産業廃棄物の処理量			
収集運搬量	0 t		
中間処理量	26,393 t	うち再資源化量	26,393 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

車両	台数	備考
10tダンプ	1台	いすゞ
7tトラック	1台	日野
4tダンプ	1台	日野
4tユニック	1台	いすゞ
合計	4台	
重機	台数	備考
ホイローダー	9台	
リフト	10台	
油圧ショベル	1台	
合計	20台	

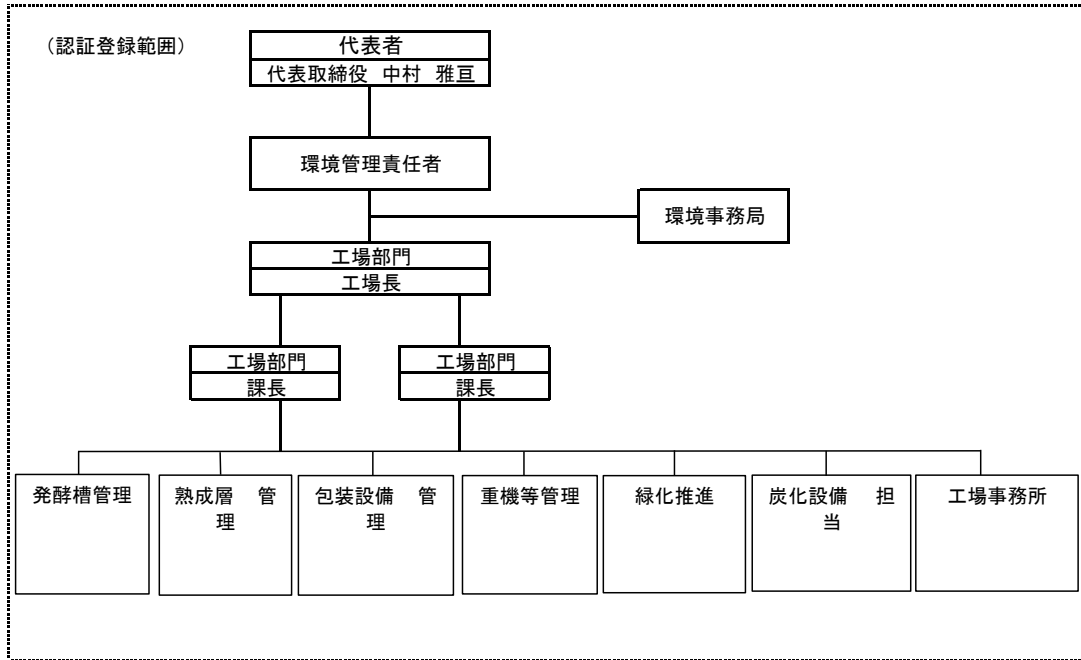
主な処理施設		
名称	内容	備考
混合施設	受け入れた原料を副資材と混合してたい肥化に適した状態にする。	屋内型コンクリート仕様
一次発酵施設	通気設備の整った槽に混合した原料を投入します。通気により強制発酵を行い、リサイクルマシンで攪拌を繰り返します。約1か月の発酵管理を行います。	屋内型コンクリート仕様 2m×3m×50mのコンクリート仕様を10レーンで構成しており、発酵槽下部から24時間体制で通気を行っています。発酵槽上部は、リサイクルマシン（4機）が稼働しており、たい肥を攪拌する仕組みになっています。
熟成施設	堆積方式による二次発酵管理を行います。ホイローダーによる天地返しを繰り返し、約4か月の熟成期間をようします。	屋内型コンクリート仕様 通気設備完備（2967㎡）
製品梱包施設	完熟したたい肥を粒度選別し、袋に詰め出荷します。	粒度選別機 13mm 15mm 梱包機 20ℓ 40ℓ フレコン詰め設備
炭化設備	完熟したたい肥を粒度選別し、袋に詰め出荷します。副資材を取り除いたものを炭化します。	ロータリーキルン方式による炭化設備1000kg/時間 (2024年7月29日廃止)

**III. 認証・登録の対象組織・活動**

- 登録組織名：株式会社白滝有機産業  
対象事業所：工場  
活動：産業廃棄物処分業（中間処理）、肥料製造・販売業

IV. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年3月1日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>経営の課題とチャンスの整理、明確化</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
工場部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## V. 許可の内容

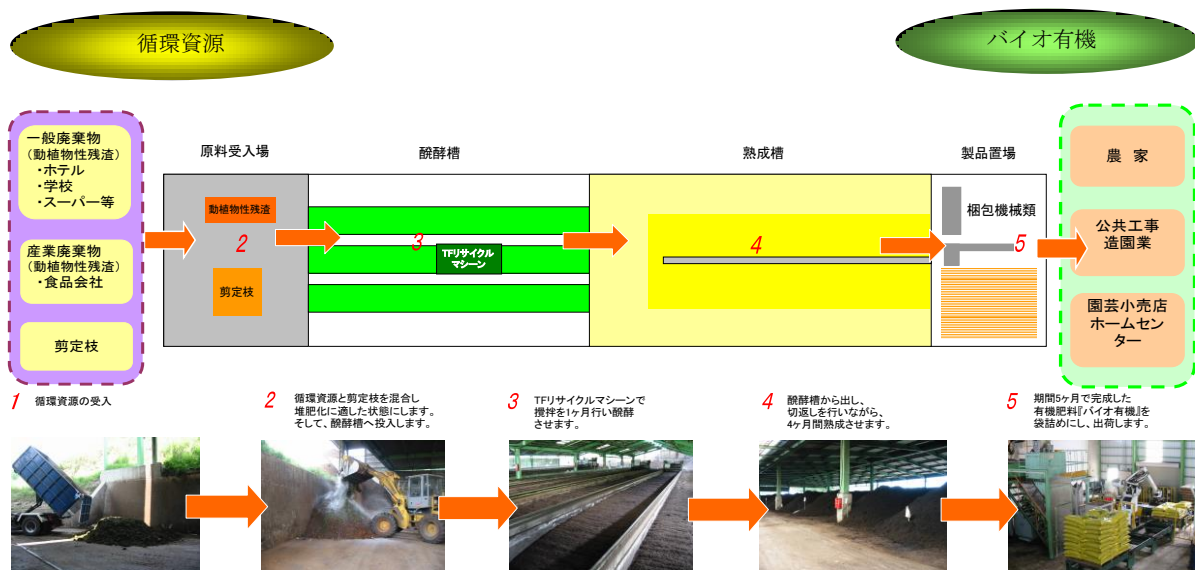
### 産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類
岡山県	第03309009920号	令和4年7月3日	令和9年7月2日	無	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、木くず 動植物性残さ、動物のふん尿
兵庫県	第02806009920号	令和4年6月28日	令和9年6月27日	無	汚泥、動植物性残さ

### 産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類															
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	木くず	動植物性残さ	動物のふん尿									
岡山県	第03329009920号	令和4年7月6日	令和11年7月2日	中間処理 (発酵による肥料の製造、発酵乾燥・焼却(炭化)による炭化物の製造)	○	○	○	○	○	○	○									

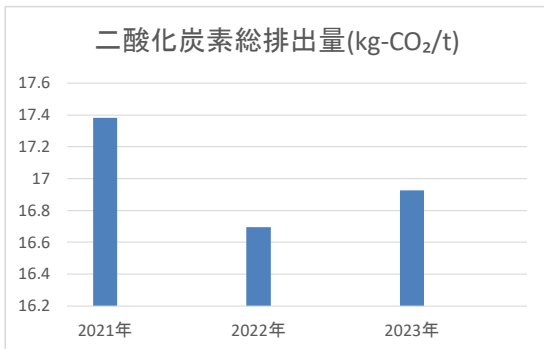
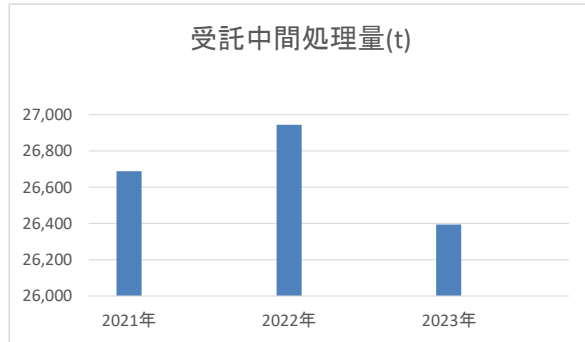
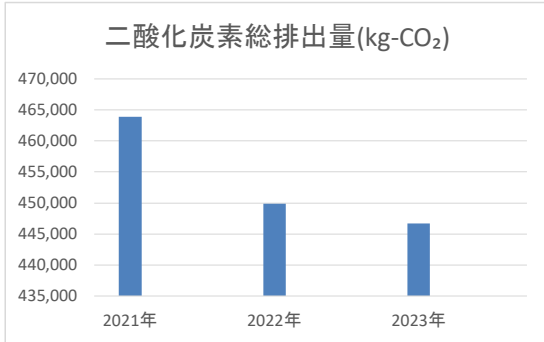
## VI. 廃棄物処理フロー



**Ⅶ. 主な環境負荷の実績**

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	463,919	449,842	446,730
電力	kw	568,672	504,219	520,415
液化石油ガス (LPG)	kg	143	169	215
ガソリン	L	1,637	1,770	1,735
軽油	L	96,954	115,749	103,235
廃棄物排出量	kg	107,586	97,669	70,641
一般廃棄物排出量	kg	28,986	22,768	23,911
産業廃棄物排出量	kg	78,600	74,901	46,730
水使用量	m <sup>3</sup>	1,447	1,225	915
受託収集運搬量	トン	0	0	0
受託中間処理量	トン	26,689	26,945	26,393
受託最終処分量	トン	0	0	0

※1. 二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO2/kWh 関西電力の2018年度の実績値(調整後)を使用  
 ※2. 化学物質の使用はありません

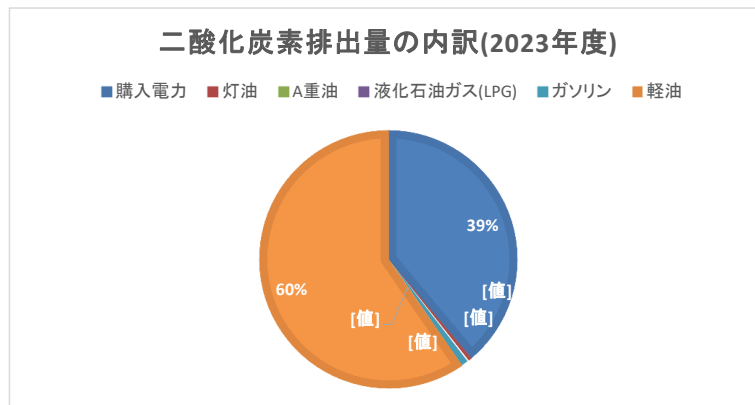


※受託中間処理量当たりの二酸化炭素排出量

Ⅷ. 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2024年		評価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	168,409	166,725	173,819	×	165,041	163,357
	kw	504,219	499,177	520,415	×	494,135	489,092
	基準年度比	2023年	99%	103%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	971	961	1,895	×	952	942
	L	390	386	761	×	382	378
	基準年度比	2023年	#REF!	195%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	508	503	645	×	498	493
	m <sup>3</sup>	169	168	215	×	166	164
	基準年度比	2023年	99%	127%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	302,739	299,712	270,371	○	296,684	293,657
	ℓ	117,519	116,344	104,970	○	115,169	113,994
	基準年度比	2023年	99%	89%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	472,627	467,901	446,730	○	463,175	458,448
一般廃棄物の削減	kg	63	63	61	○	62	61
	基準年度比	2023年	99%	97%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	124,140	122,899	46,730	○	121,657	120,416
	基準年度比	2023年	99%	38%		98%	97%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
	基準年度比	2023年	100%	100%		100%	100%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	918	909	915	×	900	890
	基準年度比	2023年	99%	100%	×	98%	97%
環境に配慮した製品の販売促進	t	10,768	10,876	9,672	×	10,983	11,091
	基準年度比	2023年	101%	90%		102%	103%
地域に密着した事業活動	実施				○		
	基準年度比						

※1ここに記載された一般廃棄物の削減の量は焼却場に持ち込まれた物のみ。その為、主な環境負荷の実績の値とは異なる。

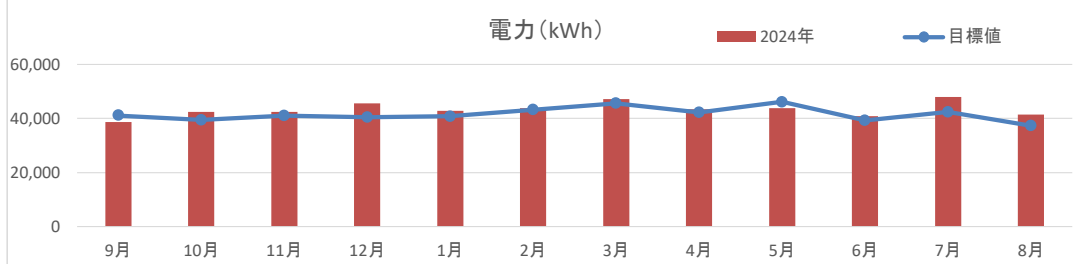


**Ⅸ. 環境経営計画の取組結果とその評価**

数値目標: ○達成 ×未達成

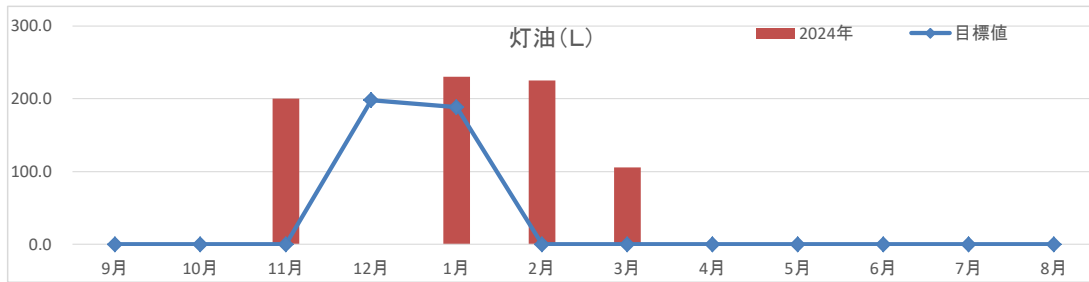
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	3mmふるい機及び新堆肥舎等の設備の増設に伴い、使用電力が増え、全体として目標値を達成できなかった。状況をもう少し観察し、この先目標値の見直しも必要であるとする。 空調温度の見直しもし、今後は目標を達成できるように努めたい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・設備機器の空運転防止	○	
・未使用箇所の消灯	○	



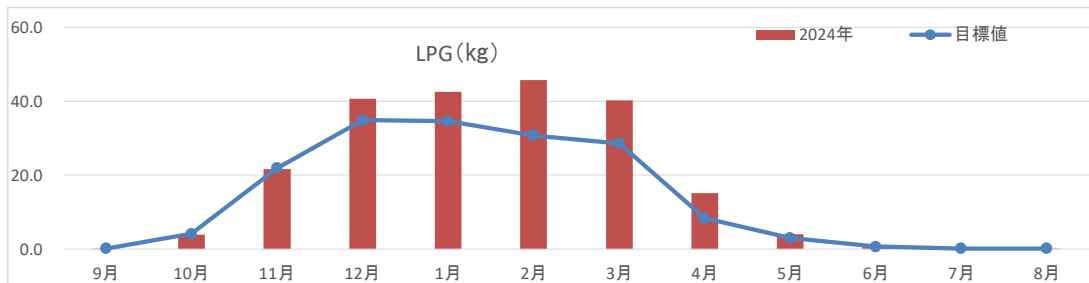
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	41,153	39,438	41,041	40,476	40,781	43,297	45,578	42,220	46,134	39,309	42,419	37,332	499,177
2024年	38,710	42,376	42,414	45,665	42,750	43,777	47,231	43,423	43,816	40,851	47,914	41,488	520,415

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	冬はストーブを使うので累計が大きくなってしまった。 使わないときは消す、防寒対策をするなどして節約に努めたい。
・気温管理による暖房制限	○	
・不要時消火	△	



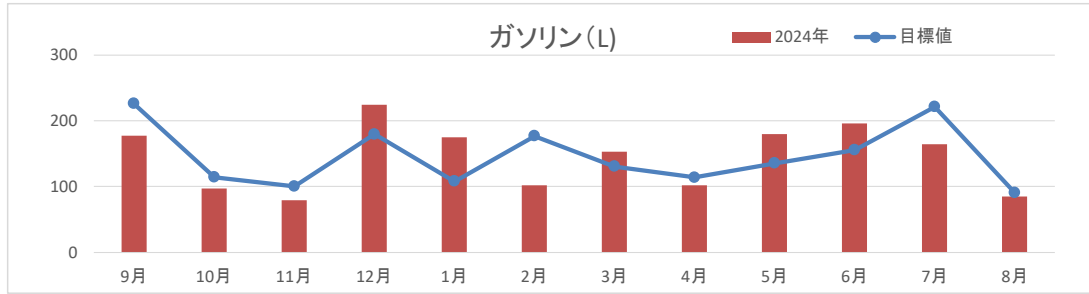
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	0.0	0.0	0.0	198.0	188.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	386.1
2024年	0.0	0.0	200.0	0.0	230.0	225.0	106.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	761.0

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	冬季は温水利用が多くなるため目標未達成。 ガス機器やシャワーの温度設定を下げ、節約に取り組みたい。
・設備の空運転防止	△	

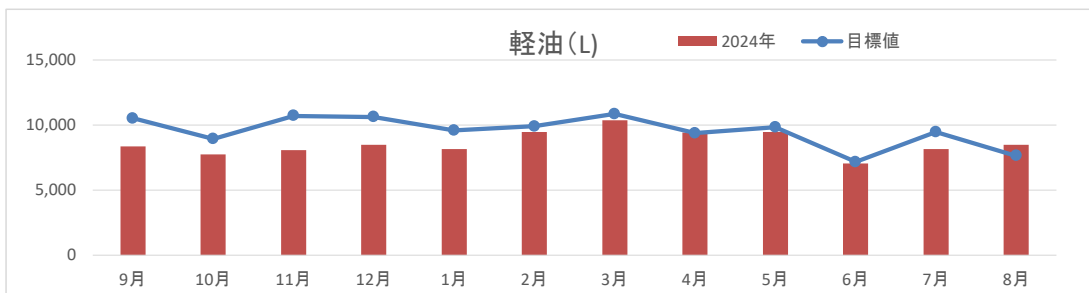


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	0.2	4.2	22.0	34.8	34.6	30.8	28.6	8.3	3.1	0.7	0.2	0.2	167.6
2024年	0.2	3.9	21.7	40.6	42.5	45.7	40.2	15.2	4.0	0.6	0.3	0.2	215.1

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	全体的に軽油の使用量が減少し目標達成。
・アイドリングストップ	△	車両の整備を行うことにより減少した。
・適正な車両の整備	△	これからも自動車整備を心掛けたい。

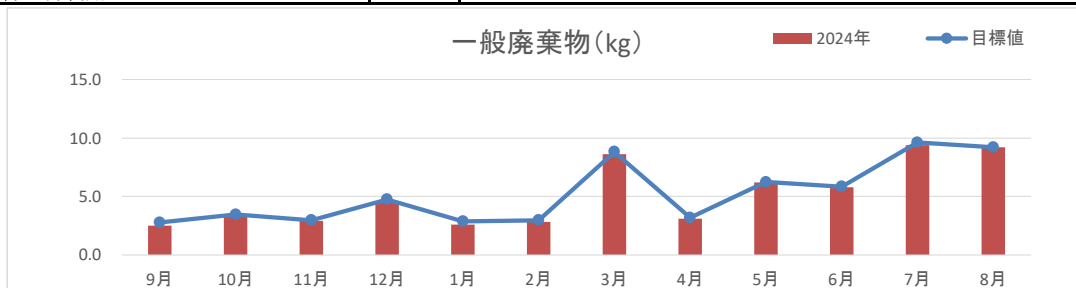


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	226	114	100	180	108	177	131	114	135	155	221	90	1,753
2024年	177	97	79	225	175	102	153	102	180	196	165	85	1,735



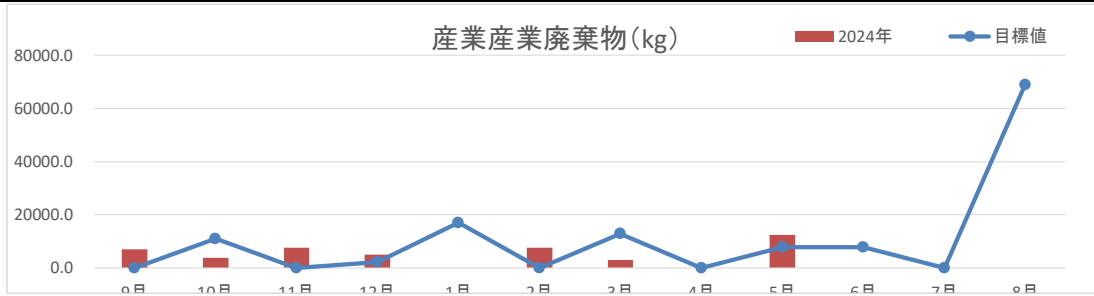
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	10,517	8,935	10,716	10,633	9,579	9,905	10,842	9,374	9,816	7,169	9,472	7,634	114,591
2024年	8,346	7,757	8,086	8,468	8,165	9,480	10,366	9,419	9,479	7,036	8,162	8,470	103,235

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ゴミの分別やシュレッダー廃紙のリサイクルを徹底して行った為目標達成。
・分別の徹底	○	今後もこの調子で続けたい。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	2.8	3.5	3.0	4.8	2.9	3.0	8.8	3.2	6.2	5.8	9.6	9.2	62.7
2024年	2.5	3.4	2.9	4.6	2.6	2.8	8.6	3.1	6.2	5.8	9.4	9.2	61.1

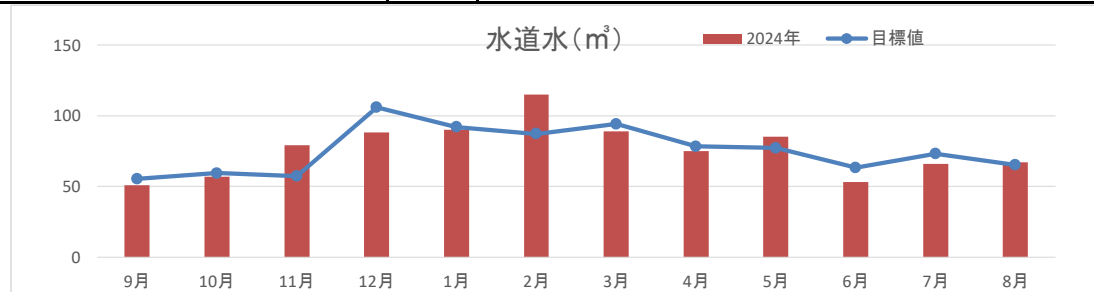
<b>産業廃棄物の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	累計目標は大きく下回ることができたので、これからもできる限り搬出の減少に取り組んでいく。
・選別によるリサイクルの推進	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	0.0	10959.3	0.0	2187.9	17047.8	0.0	12899.7	0.0	7830.9	7830.9	0.0	68953.5	127710.0
2024年	6980.0	3800.0	7720.0	5080.0	0.0	7710.0	3090.0	0.0	12350.0	0.0	0.0	0.0	46730.0

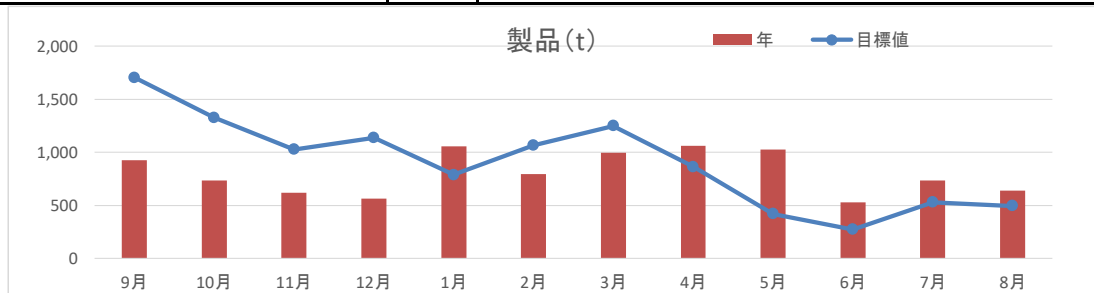
<b>受託廃棄物のリサイクル率の向上</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	廃棄物の排出先に出荷時の分別の徹底を要請し、当方も受け入れ検査を徹底することで、受入廃棄物の100%再資源化ができた。引き続き、提出先への依頼と自社受入検査の徹底を継続する。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・受入廃棄物の確認・選別の徹底	○	

<b>水道水の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	冬は凍結などでお湯の使用量が増える為累計未達。凍結防止に努めたい。また、洗車時間を短縮して節水に繋ぐよう努力していく。
・節水意識の向上	○	
・樹木水やりの効率化	△	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	55	59	57	106	92	87	94	78	77	63	73	65	909
2024年	51	57	79	88	90	115	89	75	85	53	66	67	915

<b>環境に配慮した製品の販売促進</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・市場・顧客情報の調査	0	海外出荷は新たな出荷先も増え安定しているが国内販売は安定しておらず、秋は減少したが春先には増加。
・積極的な営業活動	○	
・自社農場による利用の推進	0	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
目標値	1,704	1,325	1,027	1,138	788	1,065	1,249	864	420	273	529	495	10,876
年	925	734	617	562	1,054	795	996	1,061	1,024	529	735	640	9,672

<b>地域に密着した事業活動</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・近隣自治会との交流	○	年2回堆肥の配布を行い、帰省などで子供の多くなるお盆を休業にしたり登下校の時間帯は搬入を避けてもらうなどして良好な関係を保っている。
・発酵促進し、好気発酵	○	
・エアレーション水分調整	○	
・発酵管理	○	

## X. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物保管基準の遵守、マニフェストの管理と報告、技術管理者の設置
肥料取締法	肥料取締法に基づき表示
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の届出
振動規制法	空気圧縮機、送風機の届出
大気汚染防止法	ばい煙量およびばい煙濃度の測定記録および保管
浄化槽法	定期点検の実施
食品リサイクル法	再生利用事業内容の掲示および料金の届出・公示
消防法（危険物）	消火設備と火災報知器の定期点検
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検の実施、記録、記録の保管

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## X I. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 中村 雅亘 実施日：2025年10月24日

今期は、6月～8月まで、メイン取引先であるダイセル姫路網干工場が数年一度の完全停止、定期修繕があった為に受託量が後半減少した。

また、食品関連工場からの残渣物の搬出も減少傾向にある。

その為、新規案件の獲得等、営業活動の要点を置くことになる。

処理後の肥料については、海外への輸出が安定している為、順調に推移している。

国内販売は低空飛行といった状況である。

また、施設も新たに新設の堆肥舎、並びにエアレーション設備、ふるい機の増設を行い、長期的に安定した処理を行えるように設備増強が出来た。

この設備をフル活用し、安定した経営が出来るように努めたい。

- |           |  |  |
|-----------|--|--|
| 環境経営方針    | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり            |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す |
| 実施体制      | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり            |

## X II. これまでの環境活動の紹介

2013年度 消火訓練の様子



2014年度 美化活動の様子



2017年度 消火訓練の様子



2018年度 美化活動の様子



2019年度 消火訓練の様子



2021年度 消火訓練の様子



2022年度 消火訓練の様子



2023年度 消火訓練の様子



2024年度 消火訓練の様子



## X III. 編集後記

受託及び製品の販売実績が安定して目標を達成する状況となっており、その状況に伴う、化石燃料使用状況を更に精度の高い取り組みとして、原単位による評価を検討する。